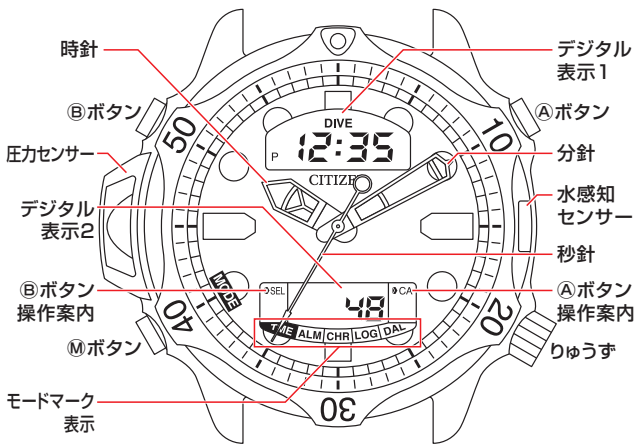


C500 簡易操作ガイド

・仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。

 C500取扱説明書

各部の名称



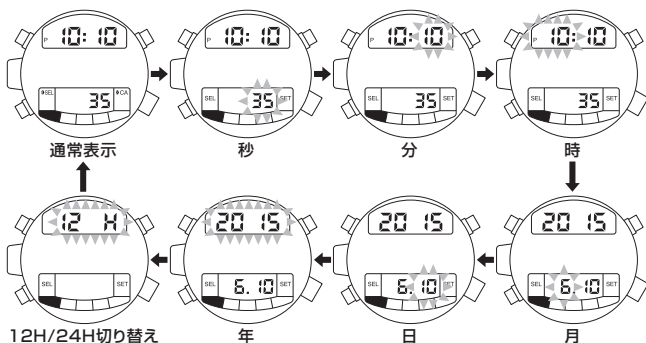
- ・モデルによってデザインが異なります。
- ・スケールやベゼルについて、詳細は取扱説明書や、サイトの外装機能についてのページ(<http://citizen.jp/cs/guide/gaiso/index.html>)をご参照ください。
- ・ねじロックりゅうずの解除は、りゅうずが飛び出すまで左に回してください。

時刻とカレンダーを合わせる

デジタル表示の時刻とカレンダーを合わせる

- ・デジタル表示の時刻とカレンダーを修正した後、アナログの時刻を合わせます。
- ・デジタル表示の時刻は、アナログの時刻(時針/分針)と連動していません。
- ・修正中、①ボタンを押すと中断できます。
- ・修正途中で操作を行わないまま約3分間経過すると、自動で中断します。

1. ①ボタンをくり返し押して、モードを「TME」にする
2. ②ボタンを2秒間以上押し続ける
秒が点滅して、設定できるようになります。
3. 時報に合わせて、①ボタンを押す
4. ②ボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ
②ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わります。



5. ①ボタンを押して、合わせる
①ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。
6. 手順4、5をくり返し、他の対象を合わせる
7. ①ボタンを押して、終了する

アナログの時刻を合わせる

アナログの時刻(時針/分針)は、デジタル表示の時刻と連動していません。

1. りゅうずのネジをゆるめて、秒針が0秒を指しているときに、りゅうずを引く
秒針が止まります。
2. りゅうずを回して、時刻を合わせる
デジタル時刻よりも1分進めておきます。
3. デジタル時刻の秒が0になったときに、りゅうずを押し込む

アラームを使う

ダイビング中はアラームは鳴りません。

1. ①ボタンをくり返し押して、モードを「ALM」にする
現在設定されているアラーム時刻が表示されます。
2. ②ボタンを2秒間以上押す
アラームの時間が点滅します。
3. ①ボタンを押して、時を設定する
・午前と午後を間違えないように注意します。
・①ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。
4. ②ボタンを押す
アラームの分が点滅します。
5. ①ボタンを押して、分を設定する
①ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。
6. ②ボタンか①ボタンを押して、終了する

アラームのONとOFFを切り替える

「ALM」で①ボタンを押すごとに、ONとOFFが切り替わります。

アラーム音を確認する

「ALM」で①ボタンを2秒間以上押し続けると、アラーム音を確認することができます。

クロノグラフを使う

1/100秒単位、最大24時間まで計測できます。24時間を超えると、0時間0分0秒で停止します。

・クロノグラフ計測中は、他のモードへの切り替えはできません。

1. ①ボタンをくり返し押して、モードを「CHR」にする
スタート / ストップ：①ボタンを押します。
リセット：ストップ中に、②ボタンを押します。
・計測中に②ボタンを押すと、経過時間(スプリットタイム)が10秒間表示されます。
・スプリットタイム表示中に再び②ボタンを押すと、次のスプリットタイム(スタートからの経過時間)が10秒間表示されます。

ダイブモードを使う

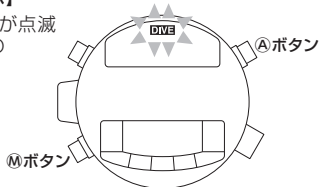
- ダイブモードを使うときは、必ずクロノグラフをリセット状態にします。

1. M ボタンを2秒間以上押し続ける

- どのモードでもM ボタンを2秒間以上押しすと、ダイブモードの「準備表示」に切り替わります。
- M ボタンを押さなくても、水感知センサーが水分を感知すると、自動的に「準備表示」に切り替わります。
- 「準備表示」で60分間経過すると、自動で切り替え前のモードにもどります。

【潜水準備表示】

- DIVEマークが点滅
- 切り替え前のモード表示

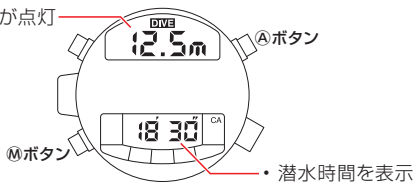


2. 潜水を開始する

- 水深1m以上になると、「水深計測表示」に切り替わります。

【水深計測表示】

- DIVEマークが点灯
- 水深を表示



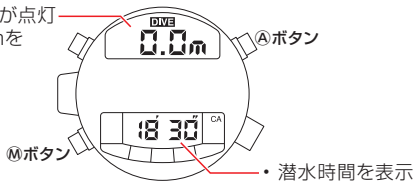
A ボタンを押している間、最大深度と水温を表示します。

3. 潜水を終了する

- 水深1m未満になると、「計測後0m表示」に切り替わります。

【計測後0m表示】

- DIVEマークが点灯
- 水深が0.0mを点滅表示



A ボタンを押している間、このダイブでの最大深度と最低水温を表示します。

4. M ボタンを2秒間以上押し続ける

- 「TME」モードになります。
- M ボタンを押さなくても、10分間以上操作を行わないと、自動で「TME」モードに切り替わります。

ログモードを使う

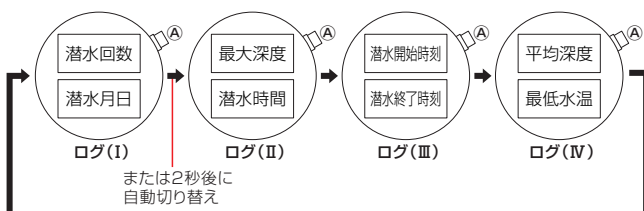
- 最新の4回分の潜水データを表示することができます。
- 新しく潜水すると、最も古いログデータが消去されます。必要なログデータはログブックなどにメモしておいてください。

1. M ボタンをくり返し押しして、モードを「LOG」にする

最新の潜水データの「潜水月日」と「潜水回数」が表示されます。

2. A ボタンを押す

- 「最大深度」と「潜水時間」が表示されます。
- A ボタンを押すごとに、次のように表示項目が変わります。



3. B ボタンを押す

- 1つ前の潜水データの「潜水月日」と「潜水回数」が表示されます。
- B ボタンを押すごとに、1回ずつ古いログが表示されます。

4. 手順2と3をくり返して、潜水データを見る

- M ボタンを押すと、「TME」モードに切り替わります。
- 3分間以上操作を行わないと、「TME」モードに切り替わります。

ログデータを消す

A ボタンとB ボタンを同時に2秒以上押しすとすべてのログデータは消去されます。

ダイブアラームモードを使う

アラーム音は、周囲の状況（気泡音など）や、携帯状況により聞こえにくい場合がありますので、アラームを使用する際はご注意ください。

1. M ボタンをくり返し押しして、モードを「DAL」にする

2. B ボタンを2秒間以上押し続ける

深度が点滅し、修正できるようになります。

3. A ボタンを押して、深度をセットする

- セットできる深度は、1m～80mです。
- A ボタンを押し続けると、表示が連続で変わります。

4. B ボタンを押す

- 鳴り回数が点滅して、修正できるようになります。
- A ボタンを押すごとに、ON→OFF→1→2→3→4→5→ON と表示が変わります。
- ON：セットした深度よりも深いところでは、1分ごとに15秒間アラームが鳴ります。
- OFF：深度アラームは鳴りません。
- 鳴り回数とは、1回のダイビング中、セットした深度を超えたときに鳴らすアラームの回数です。鳴り回数を「1」にセットすると、1回のダイビングで1回だけアラームが鳴ります。

5. B ボタンを押す

潜水時間が点滅し、修正できるようになります。

6. A ボタンを押して、潜水時間をセットする

- 潜水時間の表示は、——→05→10→15→～→95→——をくり返します。
- 表示のときは、潜水時間アラームは鳴りません。

7. M ボタンを押して、終了する

オールリセットを行う

- オールリセットを行なうと、すべてのデータは消去されます。必要なデータはログブックなどにメモしておいてください。
- 動作中のクロノグラフやタイマーはリセットされます。

1. リゅうずのネジをゆるめて、引き出す

2. A、B、M ボタンを同時に押す

ボタンを離すと、液晶表示がすべて点灯します。

3. リゅうずを押し込んで、終了する

- 確認音が2回鳴ります。

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、時刻合わせ、カレンダー合わせ、アラームの設定を行ってください。